

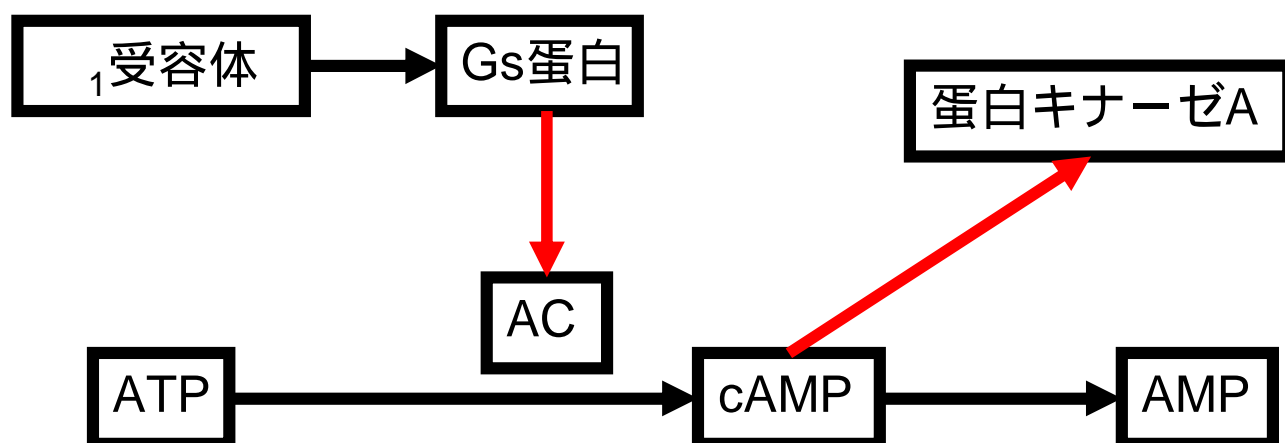
抗不整脈薬 ~ 第 群 ~

抗不整脈薬はVaughan Williams分類では第 群、第 群、第 群、第 群の4つに分類できる。

さらに第 群は a群、 b群、 c群に分類されている。

第 群抗不整脈薬

交感神経 β_1 受容体を抑制し、特に交感神経系の亢進に起因する不整脈に効果を示す。



代表薬

ISAのないもの

プロプラノロール: β_1 非選択性。膜安定化作用を持つ。
片頭痛、振戦、甲状腺機能亢進症など
にも使用される(適応外)

ブフェトロール: β_1 非選択性

ナドロール: β_1 非選択性

ランジオロール: 短時間作用型。 β_1 選択性

アテノロール: 降圧作用を有する。 β_2 受容体に対する作用は極めえ弱い

ビソプロロール: 選択性が高い β_1 アンタゴニスト

メトプロロール: β_1 選択性

ISAのあるもの

アセトブトロール: β_1 選択性。キニジン様膜安定化作用、血漿レニン活性抑制作用などを持つ

カルテオロール: β_1 非選択性

アルプレノロール: β_1 非選択性。遮断作用と心臓の機能を正常に保つための軽度の刺激作用を併有する

エスモロール: 短時間作用型。膜安定化作用(MSA)作用を有する。 β_1 選択性

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院

処方わかる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬理学 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 廣川書店

薬剤師のための服薬指導ガイド 第2版

和田 攻 朝長 文彌 株式会社 文光堂

「循環器疾患の服薬指導」指針 柴川 雅彦 高田 充隆

医薬ジャーナル社